

R5 年度 学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	教養基礎・教養基礎（森・イ）	単位数	1	担当者	太田・山下 他
---	----	-------	----------------	-----	---	-----	---------

1. 教科書・副教材

使用しない

2. 科目の目標

『未来の学校』基礎プログラムによって、自分を語る、世界・地域を知る、伝統を見る、未来を描くの4つの観点から能動的、実践的に学ぶことを通して、専門学科としての基礎的な考え方や教養を身につける。

3. 学習の計画

	月	学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	4月	ガイダンス 基礎プログラム①自分・語る	1年間の予定、内容について 基礎プログラムの実践	18	
	5月		まとめ		
	6月				
	7月	基礎プログラム②世界・知る	基礎プログラムの実践		
	8月 9月		まとめ		
後期	10月	基礎プログラム③伝統・見る	基礎プログラムの実践	17	
	11月		まとめ		
	12月				
	1月	基礎プログラム④未来・描く	基礎プログラムの実践		
	2月 3月		まとめ		

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	地域における社会的事象の情報を適切に調べまとめている	レポートや報告書の作成、作品制作 実習
思考・判断・表現	地域と世界との関連から、課題を把握して選択、判断したことを表現できる。	選択発言や報告書の内容
主体的に学習に取り組む態度	地域社会に対する愛情を持ち、将来の担い手として学習したことを活かそうとしている。	出欠席、提出物、授業態度及び取り組み

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

『未来の学校』プログラムを通して専門科の学習を深め、自らの将来を探究する意欲や態度、コミュニケーション力を育むことを目指す。 社会人講師の講義や実習は貴重な機会ととらえ、意欲的に取り組んで吸収する。 校外での学習や実習に際しては、安全に十分配慮してゆとりをもった行動ができるようにする。
